

節目の年

取り組んできた業務が一段落したこともあり、近頃自分のしている（してきた）仕事を振り返る機会が多くなりました。日々の業務で何をしているか、以前はどんな作業をしていたか、他のスタッフにどんなことを伝えてきたか等々・・・。

改めて振り返ると、いつから今のようになったのか、なぜそうしたのか、以前はどうだったのか、忘れてしまっていることが多いことに気づきました。

今年で勤続20年になりました。入職時は祖父母の年代が中心だったご利用者の方々も、今では親の世代へと代わりました。節目となる今年、古いものは一旦片づけて、新しいものをまた組み立てる時期に来たのかな、と感じています。

老眼に神経痛、体力・記憶力の低下と若い時と比べて大きなハンディキャップを背負っていますが、若い時には持ち得なかった経験と、新しいものを次世代のスタッフと一緒に構築できる楽しみで、頑張っていきたいな、と思います。

（2026年9月）

